



2024年 9月号

No.56

設備・建物の熱対策、急務です

近年夏の暑さが異常な程です。暑さのせいで作業環境があまりに過酷で、離職へと繋がるケースがあります。そうなる前に暑さをコントロールし、環境改善を図りませんか？熱をコントロールすることで環境改善、省エネ化が可能に、そして熱対策はランニングコストが掛からない事も大きなメリットです。

外部からの侵入熱対策： 遮熱シート

メーカーが発表している効果



夏の太陽により60度を超える屋根が裸足で歩けるほど温度が下がります！

- ・ 反射率97%の遮熱シートで屋根の温度上昇を大幅に抑えることができます。
- ・ 実験結果では最大11°Cの室内温度差を計測
- ・ 夏の暑さの解消、冷房費の節約、商品在庫の劣化防止、作業環境の改善ができます。
- ・ 屋根に貼れない場合、屋根の室内側に貼ることで温度上昇を抑えることができます。



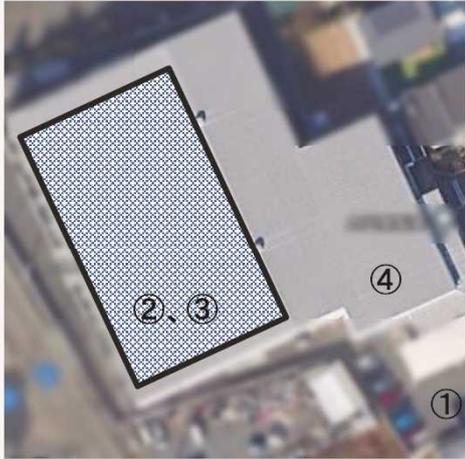
【折板屋根の暑さ対策】

サーモバリア（アルミ純度99%以上のアルミ箔を使用した遮熱シート）

スカイ工法
の動画です。

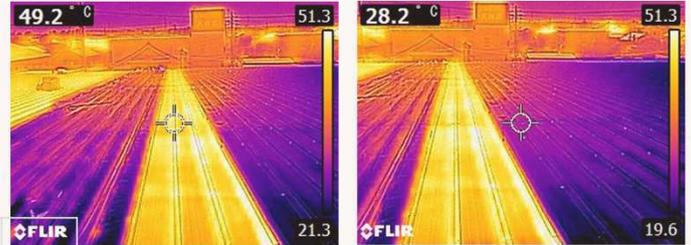
今年度弊社にて設置した熱対策実績

某工場・倉庫



網掛け部分：遮熱シート設置

- ①実測外気温
- ②実測室内温度
- ③2階倉庫（断熱材表面温度）
- ④1階前室（断熱材表面温度）
（施工後のみ）



■施工前データ

	①実測外気温度	②実測室内温度	②-①内外温度差	断熱材表面温度
6月10日	28.0 °C	32.3 °C	4.3 °C	39.8 °C
6月11日	30.8 °C	33.8 °C	3.0 °C	40.7 °C
6月12日	31.7 °C	34.3 °C	2.6 °C	39.9 °C
平均	30.2 °C	33.5 °C	3.3 °C	40.1 °C
平均値:	外気温度30.2°Cに対し、室内温度は33.5°C +3.3°C			
	外気温度30.2°Cに対し、断熱材表面温度40.1°C +9.9°C			

1階前室の屋根には遮熱シート無し

■施工後データ

	①実測外気温度	②実測室内温度	②-①内外温度差	断熱材表面温度		
				①2階倉庫	②1階前室	①-②
7月22日	38.8 °C	35.8 °C	-3.0 °C	36.1 °C	44.6 °C	-8.5 °C
7月23日	38.6 °C	34.9 °C	-3.7 °C	36.7 °C	44.0 °C	-7.3 °C
7月24日	38.3 °C	34.3 °C	-4.0 °C	34.6 °C	43.4 °C	-8.8 °C
平均	38.6 °C	35.0 °C	-3.6 °C	35.8 °C	44.0 °C	-8.2 °C
平均値:	外気温度38.6°Cに対し、室内温度は35.0°C -3.6°C					
	外気温度38.6°Cに対し、断熱材表面温度35.8°C -2.8°C					
	断熱材表面の低減された温度 -8.2°C					

ヒアリングから施工前の真夏日は、倉庫内温度40°Cを超える日があるとの事でしたが、現在は35°Cとなっており、5°C程の低減が確認できております。

熱源によってシート、塗装、その他採用すべき技術が異なります。熱に関してお困り事ございましたら是非、お問い合わせ下さい。課題、現場の状況にあった改善提案をさせていただきます。お気軽にお問い合わせください。

お客様お問い合わせ記入欄

内容に関してもっと詳しく知りたいという企業ご担当者様、FAX、お電話にてご連絡ください。QRコードからHPお問い合わせでもお待ちしております。FAXの場合はお困りごとを一言ご記入願います。

TEL 0532-61-0077 FAX 0532-61-4634



貴社の情報をご記入ください。

貴社名： _____

ご担当者名： _____

ご住所： _____

電話番号： _____

メール： _____